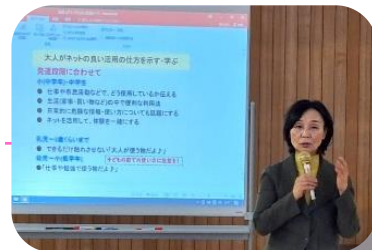


地域の子育てを支える 仲間たちの交流会

オホーツク教育局では、すべての保護者が安心して家庭教育を行うことができる支援体制の構築のため、市町村の家庭教育ナビゲーターを含む家庭教育支援者の連携を進め、地域における家庭教育支援の基盤構築に向けた取り組みの拡充を図るため、令和6年（2024年）1月23日（火）、遠軽町基幹集落センターを会場に「地域の子育てを支える仲間たちの交流会（家庭教育研究協議会）」を実施しました。

当日は、遠軽町を中心に近隣市町で子育て・家庭教育支援に取り組む団体などのメンバーや、教育委員会職員が集まり、学びや交流を深めました。

講演 「今、必要な家庭教育支援について」
講師 NPO法人お助けネット 代表理事 中谷 通恵 氏



平成16年よりNPO法人お助けネットを立ち上げ、様々な子育て支援活動を展開し、白老町から「子育て支援拠点事業」と「ファミリーサポートセンター事業」の業務を受託し、「白老町家庭教育支援チーム」として家庭教育支援に取り組んでいらっしゃる中谷氏にご講演いただきました。

ご自身の子育ての経験や、育児サークルや子育てのミニコミ誌を通して、全道各地の多くの保護者からの声を聞いてきた経験、様々な調査結果などに基づき、「今、必要な家庭教育支援について」と題し、子育てを取り巻く環境や、白老町家庭教育支援チームの取組、支援者のネットワークづくりの意義など、保護者・行政、双方の視点で多岐にわたる内容をお話いただきました。

子育ての問題は、家庭だけの問題ではなく、社会全体で解決していかなければいけない問題であること、家庭教育支援は、保護者の子育てに「寄りそう」ことと、必要な情報を「伝える」ことの両立が大切であることなど、家庭教育・子育て支援の重要性について理解を深めることができました。



白老町子育てふれあいセンター（すくすくひろば）の取組はYouTubeでも公開されています。

事例紹介・参加者交流
発表 えんがる子育て応援チームの取組について 代表 高橋 望 氏

まず、参加者を代表して「えんがる子育て応援チーム」の取組を発表いただきました。

遠軽町で子育てをしていく人たちが、子育て支援の情報や子育てを応援してくれる人の存在を知る事で「一人じゃないんだ」と感じてもらえたら…と、SNSで町内の子育て情報を発信したり、親子で参加できるイベントを企画・運営したりしている活動の紹介や、「一緒に活動する仲間や、協力してくれる皆さんのおかげで活動できる」と活動のモチベーションなどをお話しされました。



事例発表の後は、参加者の皆さんにご自身の取組や、子育て、家庭教育支援についての思いを語っていただきました。行政職員として、地域住民の一人として、子育て中の保護者としてそれぞれできることを、協力して取り組む必要性を共有しました。

えんがる子育て応援チームの活動は
各種SNSで公開中です。



核家族化や地域社会のつながりの希薄化等を背景として、子育ての悩みや不安を抱えたまま保護者が孤立してしまうなど、家庭教育が困難な現状が指摘される中、文部科学省では、地域人材を活用した「家庭教育支援チーム」等による身近な地域における家庭教育支援活動を推進しており、北海道教育委員会でも、各地域での「家庭教育支援チーム」の設置や、文部科学省「家庭教育支援チーム」登録制度の活用などを進めています。

家庭教育支援チームとは、子育て経験者をはじめとする地域の多様な人材で構成され、

- ① 保護者への学習機会の提供や情報提供、相談対応
 - ② 親子参加型の体験プログラムの実施、情報提供や交流の場の提供
 - ③ 家庭訪問等による個別の情報提供や相談対応
- などを行う組織です。

文部科学省ポータルサイト 子どもたちの未来を育む家庭教育

【URL】 https://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/sgg/katei_index.html



文部科学省ポータルサイト
子どもたちの未来を育む家庭教育

参加者のみなさんの感想・意見

参加者さんの感想から我が子の小さい時の子育てを思い出した。

あの時の辛く苦しい孤独な子育てをあらためて感じたけれど、近所の方、活動を通して共に子育てする仲間、地域のサポーター、出会った人たちに支えられてやってこれたことがありがたいと感じた。

役場の人と初めて同じテーブルで話げできました。こんな機会が繰り返されると、もっと打ち解けて、色んな話げができそうです

思いがある人がしてくれる事で細やかな支援ができるのだと感じています。そしてそれを行政に繋げていくパワーに勇気をいただきました。

行政の立場として「つながり」を大切にしてみんなが安心して生活のできる社会を創っていくこと、大切ですね

子どもの年齢によってそれぞれ悩みも違うが、特に小さいうちの親の孤独や育児をサポートし合える仕組みづくりや繋がりが、幸せに生きることにつながる感じる。

社会教育といえば、大人のためのもの。という認識がありました。しかし、やはり子供の学校の外での教育はとても大事と思います。さらに未就学児となると重要度は増すと感じました。



北海道教育委員会 家庭教育支援の取組について

北海道教育庁社会教育課 家庭教育支援のページ

【URL】 https://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/sgg/katei_index.html



北海道教育委員会 家庭教育支援のページ

- 資料「家庭教育支援のためのハンドブック」を公開しています。家庭教育支援に取り組む際の参考にご覧ください。上記WEBページからダウンロードできます。
- 北海道家庭教育サポート企業等制度
北海道教育委員会では、家庭教育を支援するための職場環境づくりに取り組む企業等と協定を締結し、相互に協力して、北海道における家庭教育の一層の推進を図るための制度を実施しています。2,000者を超える企業等が趣旨に賛同し、道教委との協定を結んでいます。

